

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市会議員

発行：2025年11月23日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



醍醐コミバスの運行 元に戻そう!!

7月21日から、日曜祝日のコミバスが運休になり、多くの皆さんが困っていられます。呼びかけ人の方々が名前と住所を出して「醍醐コミュニティバスの運行をもとに戻すことを求める署名」を作り、「市民の会」への要望と「市議会」への陳情に取り組んでおられます。自治会や地域の開業医さん、美容院や飲食店その他へも働きかけ、どんどん署名が広がっています。「回覧板で回ってきたからもう書いたけど、知り合いに頼んでみる」と署名用紙を預かって下さる方や「共産党は支持してないけど、地域のことで頑張ってくれているので署名する」と言ってくれる方もあります。子育て中の若い方も「困っている人がいるのはよくわかる」と署名して下さり、東陵高校の前では、高校生が署名に協力して下さる姿があります。苦難あるところに共産党あり！です。

コミバス署名がどんどん広がってます



議員日誌

軍事費が増える一方で医療が危ない！ 議会報告会

ダイゴロー会議室といきいき市民活動センターをお借りして、日本共産党議会報告会を開きました。前参議院議員の倉林明子さんが挨拶をされました。倉林さんは「高市首相になって、期待されている方も多いけれど、何を期待しているか聞くと、具体的な答えは出てこない状況です。維新と一緒に進めようとしているのは、軍事費を増やす一方で国民負担の増額です。ベッ



ドを1床減らせば410万円の補助金を出すと誘導して、ベッドを11万床も減らす計画です。そして、薬局で買える薬を保険から外すと言っています。アトピー性皮膚炎などで使っている薬が保険から外れると、薬代だけで40倍もの負担になる人があります。お金がなければ治療ができません。自民と維新が医療費の4兆円削減をすすめれば、国民のいのちや健康が守れなくなります」と報告しました。西野さち子は「戦争をする国づくりが全国でどんどん進められています。でも、地方自治体の長の承認が必要なものがまだまだあります。地方自治体の長の判断で戦争に突き進む方向に待ったをかけることもできます。知事選挙はその意味でも重要です。」と話し、市会報告をしました。司会から「何でも聞いてみよう」との案内に、何人もの方から質問や感想が出されました。

第37回醍醐母親大会

11月16日に、醍醐母親大会が行われました。「酷暑40度超えはなぜ？」と題して、北山の自然と文化を守る会代表幹事の榊原義道さんの講演がありました。「記録的な豪雨や猛暑で、お米作りにも影響が出ています。見た目は同じでも昆虫が20年間で7割減っています。地球温暖化による影響は大洪水や干ばつ、熱中症の増加はニュースで知っていても、日常生活では何とか過ごせて深刻さが実感できない間に地球温暖化は進んでいる」と榊原さんが警鐘。その後、各地各団体からの報告があり、醍醐地域だけではなく、国政や市政に関わる問題が多く出されました。北陸新幹線延伸や民医労、福保労、新婦人、九条の会・醍醐、醍醐コミバスの運行をもとに戻す署名運動や市政報告がありました。最後に大会アピールと特別決議が採択されました。特別決議は「憲法を変えさせない！今こそ平和と人権をまもろう！」「大軍拡予算続々、古都京都が西日本の軍事戦略拠点に！」「日常会話から思想まで監視する「スパイ防止関連法制」が自民・維新・国民・参政の主導で浮上！」の書き出しで始まっている。戦争する国にはさせない決議です。

